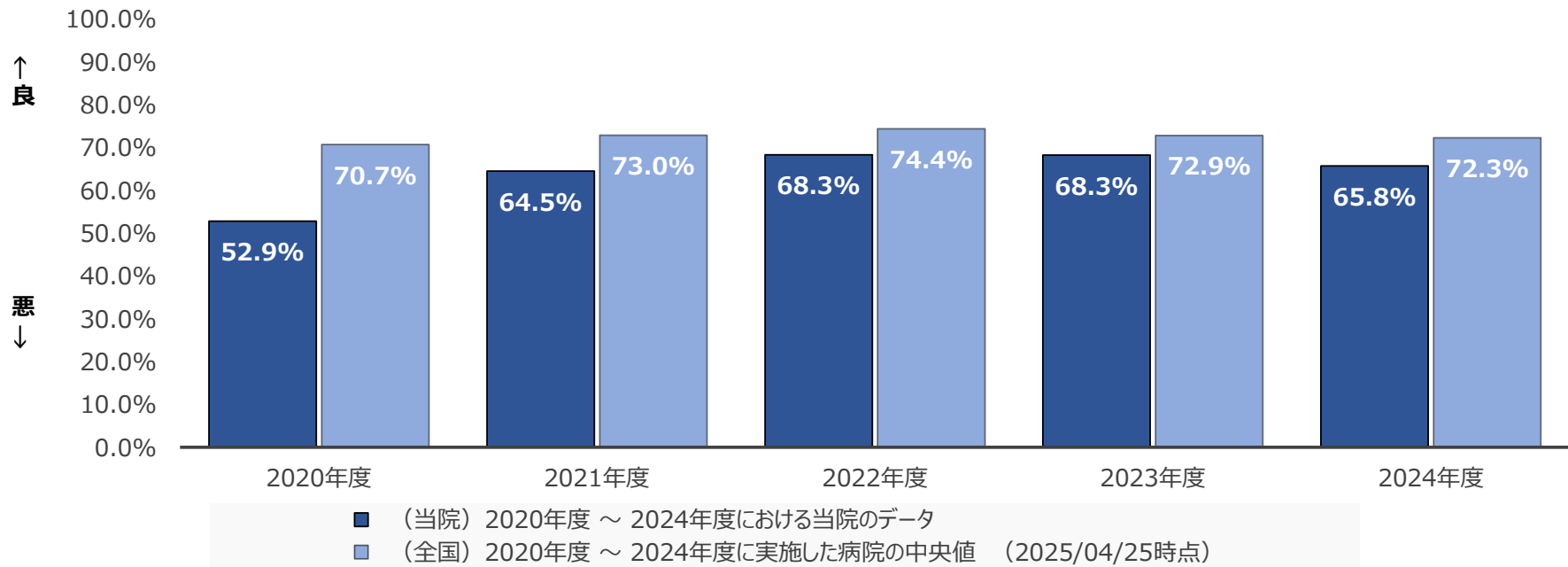


【29】胃癌低侵襲手術率（内視鏡）



<定義>

（分子）分母のうち、内視鏡手術が施行された患者数
（分母）胃癌のU I C C 治療前ステージⅠのうち該当する切除術が施行された退院患者数

<コメント>

胃癌のUICC治療前ステージⅠに対する治療は内視鏡または腹腔鏡による低侵襲手術が行われることが多くなっています。

大きい病変であったり、潰瘍を伴っていたり、低分化型などの癌の場合は内視鏡手術の適応外となる場合があります。

2024年度当院の内視鏡手術率は65.8%で調査参加病院の中央値よりも低くなっていますが、胃癌低侵襲手術率（腹腔鏡）と合わせると、胃癌ステージⅠに対する全低侵襲手術率(内視鏡+腹腔鏡)は調査参加病院の中央値の全低侵襲手術率(内視鏡+腹腔鏡)と概ね同等となります。